本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



●製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：ＦＥ型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分（秒はコロンが点滅）
　　カレンダー表示＝月・日
　　秒表示＝秒
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
　　うるう年セット機構
その他：フルオートカレンダー機能
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：酸化銀電池(UCC-366)　電池別途販売
電池寿命：約15ヵ月

●ご使用上の注意

カシオデジタルウオッチをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。

(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。

(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。

(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。

(4) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。

(5) このカシオデジタルウオッチを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは

(a) 寒冷所や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。

(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置しないでください。

(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、15ヵ月ごとに電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。

(6) ボタン操作は確実におこなってください。

(7) 側ケースおよびバンドの汚れは、乾いた柔かい布か、中性洗剤液に浸し固くしぼった布でおふきください。尚、シンナー、ガソリン等の溶剤類・クリーナー類・接着剤および塗料類の付着は、化学作用により、側ケースおよびバンドの性能劣化、あるいは破損を招くことがありますので、時計に付着しないよう、充分ご注意ください。

(8) 定期的なパッキン交換を！ 外部からの水分やチリ・ホコリの浸入を防ぐため防水パッキンを使用しています。ゴム製品のため長い間使用していますと性能が劣化しますので、定期的な交換(２～３年を目安に)を行なうようお願いします。

●電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれているモニター用電池ですので、約15ヵ月に満たないうちに寿命がきれることがあります。

電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約15ヵ月の間ご使用になれます。

電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオデジタルウオッチ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオデジタルウオッチ専用電池と交換してください。

カシオデジタルウオッチ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意くだたい。

●液晶パネルの交換について

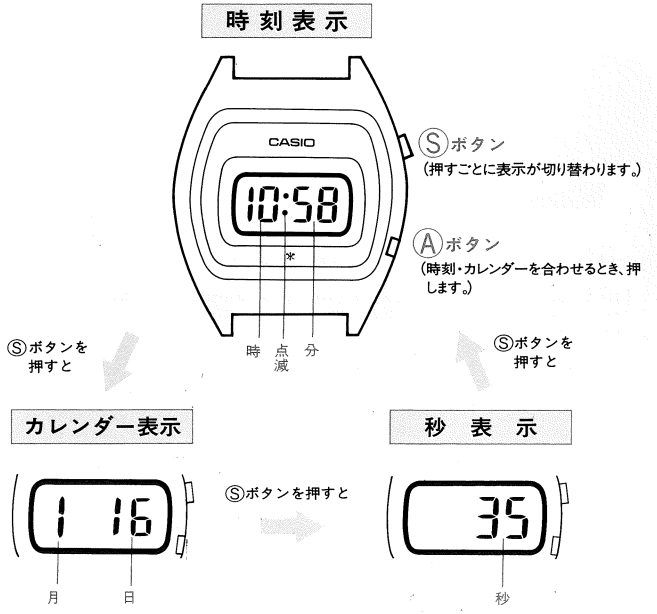
この時計には高品質のＦＥ型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性質上７年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオデジタルウオッチ取扱店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

時計のお取扱いにあたりましては、万一、誤ったボタン操作を行ないましても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにもご納得のゆくまでお試しください。

表示の見方と操作のしくみ

Ⓢボタンを押すごとに以下の矢印(➡)のように表示が切り替わります。なお、カレンダー表示のままにしておくと、約2秒後、自動的に時刻表示に戻ります。

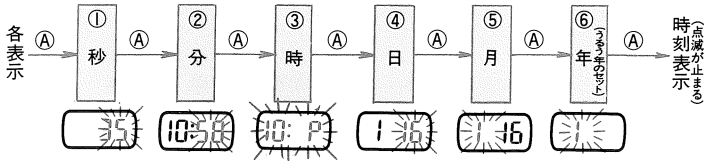


※カレンダーは大の月、小の月、およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダーですので、1度セットすれば電池交換時以外は修正する必要はありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

どの表示のときでも、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅します。以後Ⓐボタンを押すごとに、以下の順で点滅個所が移動します。

※Ⓐボタンは凹状になっていますのでキズのつきにくい棒状のもの（マッチ棒、ボールペンの先など）で押してください。

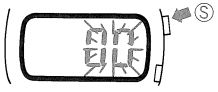


秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

(1)どの表示のときでも、Ⓐボタンを押すと「秒」が点滅します。



(2)時報に合わせてⓈボタンを押すと「秒」が00からスタートします。



秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

○秒合わせだけのときはこれで終了ですので、Ⓐボタンを6回押して時刻表示にします。

秒以外を合わせたい場合

●「分」のセット

(1)どの表示のときでも、Ⓐボタンを2回押すと「分」が点滅します。



(2)Ⓢボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進みますので合わせたい「分」にしてください。

※Ⓢボタンを押しても、点滅個所以外は表示が進みません。



●「時」のセット

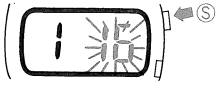
「分」を合わせたあとⒶボタンを押すと、「時」と午前・午後を示すAまたはPが点滅します。このときⓈボタンを押すごとに「時」が進みますので合わせたい「時」にしてください。



※午前A、午後Pの指定をまちがえないようご注意ください。(誤って指定すると「カレンダー」が半日ずれます。)

●「日」のセット

「時」を合わせたあとⒶボタンを押すと、「日」が点滅します。Ⓢボタンを押すごとに「日」が進みますので合わせたい「日」にしてください。



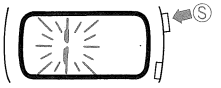
●「月」のセット

「日」のセットと同様、Ⓐボタンで「月」を点滅させ、Ⓢボタンで合わせたい「月」にしてください。



●「年」のセット…… "うるう年から何年目か" をセットします。

「月」のセットのあとⒶボタンを押すと、右図のように0～3の数字が表示され、Ⓢボタンを押すごとに数字が進みますので以下に従い0～3の数字をセットします。



(例)1981年の場合は下表により "1" をセットします。

セットする数値	西暦				
0	1980	1984	1988	1992	1996
1	1981	1985	1989	1993	1997
2	1982	1986	1990	1994	1998
3	1983	1987	1991	1995	1999

セット完了

「年」を合わせ終わったらⒶボタンを押します。点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



■セット例……「時」と「月」をセットする。

① Ⓐボタンを3回押し、「時」を点滅させる。
② Ⓢボタンを押し、「時」を合わせる。……(午前・午後に注意)
③ Ⓐボタンを2回押し、「月」を点滅させる。
④ Ⓢボタンを押し、「月」を合わせる。
⑤ Ⓐボタンを2回押し、セット完了。(時刻表示に戻ります)